

基本目標の取り組み実績と評価③

評価基準 A：計画通り実施できた B：ほぼ計画通り実施できた C：あまり実施できなかった D：実施できていない

基本目標	取り組みの方向性	主な取り組み	前期5年に実施した具体的事業及び成果 (令和5年度は予定を含む)	評価	今後の方針	後期5年の取り組み(特記)
基本目標3 心身 近さと自然の 誇り史が もてる まち	①自然・歴史を学習できる場所を整備し、提供します。	市が所蔵している郷土資料の有効活用について検討し、一人でも多くの人が見て、触れて、学べる機会を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校での出前講座 (R3~R5) 小・中学校への史料貸出 (R3~R5) 	A	継続	
		あかがねミュージアムや郷土資料室「ふるさとラボ」での郷土文化資料の常設的な展示を行い、いつでも学習できる環境整備に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとラボ 常設展示 あかがねミュージアム 新居浜ショーケース (R2) 別子太平記 (R3) 新居浜別子銅山東平エリアVRツアー (R4) 	A	継続	
		郷土資料室「ふるさとラボ」がある市民文化センターの老朽化に対応するため、郷土文化資料等の展示・収蔵を行う新たな場所の整備を検討します。	ふるさとラボ所蔵品(旧郷土美術館所蔵品)の整理 (R3~R5)	C	継続	引き続き検討を進めます。
	②学校や地域との連携・協働を進め、子どもたちに文化財を活用した学習、体験する機会を拡充し、文化財や歴史的景観等に対する関心を高めていきます。	地域との連携、情報の共有を行い、コミュニティスクールの協力を得て、地域文化の伝承の機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校共同本部事業 (R1~R5) 放課後子ども教室事業 (R1~R5) 	B	継続	
	③文化財や歴史的文献の整理、公開、情報発信を行い、市民の文化財に対する理解の促進を図ります。	地域に残る古文書の解説、資料収集、市史編さん作業を推進し、ふるさと学習資料として情報提供できるよう整理します。	新居浜市市史編さん基本計画方針及び刊行計画の策定 (R1) 「新居浜市の歴史」の発行 (R3) 「新居浜市史調査報告書」の発刊 (R4~R5)	B	継続	
		埋蔵文化財分布状況の確認を行い、情報を整理し、ホームページ等で広く発信します。	包蔵地内で埋蔵文化財調査 ホームページによる発信 ・包蔵地情報、手続きの流れ等	A	継続	
		文化財保護意識の醸成のため、冊子「新居浜の文化財」の更新を行い、ホームページ等でも情報提供を行います。また、「文化財めぐり」事業を継続して実施します。	冊子「新居浜の文化財」の更新 (R3) 文化財めぐり ・市外文化財巡り (R1~R2) ・市内文化財巡り (R1)	B	継続	
	④文化財の適切な保存、継承、整備に努めます。	市内でも特に価値の高い文化財を今後も適切に保護していくため、「銅山峰のツガザクラ群落」等の文化財の保存・管理計画を策定します。	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定調査 (R2~3) 計画策定 (R4~5) 	A	継続	
		市指定史跡「つづら淵」のほか、市内の湧水池を環境学習として活用ができるよう、整備事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> つづら淵整備 (R1) 高柳泉公園整備 (R2~R4) 岡城館歴史公園湧水池整備 (R1~R3) 	A	継続	予定事業終了
		指定文化財の適切な保存を行うとともに、案内看板の設置・補修や周辺環境整備を行います。	国・県・市文化財の指定・登録数 100か所から109か所に増 文化財看板の修繕 「大転輪蔵」保存修理事業 「久貫屋敷」保全事業 など	A	継続	